

出雲商工会議所管内 業種別景況（令和3年1月～3月期）

《全業種》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(令和2年1月～3月期)と比べた 今期(令和3年1月～3月期)の状況				前期(令和2年10月～12月期)と比べた 今期(令和3年1月～3月期)の状況				今期(令和3年1月～3月期)と比べた 来期(令和3年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	21.7	26.7	51.7	△ 30.0	21.7	23.3	55.0	△ 33.3	35.0	31.7	33.3	1.7
2 採算	11.7	40.0	48.3	△ 36.7	8.3	48.3	43.3	△ 35.0	20.0	53.3	26.7	△ 6.7
3 仕入単価	30.5	66.1	3.4	27.1	18.6	78.0	3.4	15.3	15.0	80.0	5.0	10.0
4 従業員数					1.7	93.1	5.2	△ 3.4	6.9	84.5	8.6	△ 1.7
5 資金繰り					7.0	71.9	21.1	△ 14.0	8.8	73.7	17.5	△ 8.8

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		16.9	35.6	47.5		-30.5		25.4	45.8		28.8	-3.4		1.7

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	50.0	11.3	3.2	64.5	8 設備店舗の狭小・老朽化	4.8	6.5	12.9	24.2
2 大企業進出による競争激化	1.6	6.5	3.2	11.3	9 取引条件の悪化	1.6	1.6	0.0	3.2
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	1.6	8.1	6.5	16.1
4 原材料高及び不足	8.1	6.5	4.8	19.4	11 需要の停滞	6.5	22.6	12.9	41.9
5 在庫製品・商品の過剰	1.6	3.2	3.2	8.1	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	1.6	0.0	1.6
6 人手不足	12.9	4.8	3.2	21.0	13 その他	4.8	1.6	3.2	9.7
7 人件費の増加	1.6	3.2	9.7	14.5	無回答	4.8	22.6	37.1	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

《製造業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(令和2年1月～3月期)と比べた 今期(令和3年1月～3月期)の状況				前期(令和2年10月～12月期)と比べた 今期(令和3年1月～3月期)の状況				今期(令和3年1月～3月期)と比べた 来期(令和3年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	33.3	11.1	55.6	△ 22.2	33.3	22.2	44.4	△ 11.1	55.6	33.3	11.1	44.4
2 採算	22.2	22.2	55.6	△ 33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	44.4	55.6	0.0	44.4
3 仕入単価	33.3	66.7	0.0	33.3	22.2	77.8	0.0	22.2	0.0	100.0	0.0	0.0
4 従業員数					11.1	66.7	22.2	△ 11.1	11.1	77.8	11.1	0.0
5 資金繰り					33.3	55.6	11.1	22.2	22.2	77.8	0.0	22.2

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I (業況判断指数)とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		11.1	66.7	22.2		△ 11.1		22.2	55.6		22.2	0.0		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	44.4	22.2	0.0	66.7	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	11.1	44.4	55.6
2 大企業進出による競争激化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取引条件の悪化	11.1	0.0	0.0	11.1
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	0.0	0.0	0.0	0.0
4 原材料高及び不足	0.0	0.0	0.0	0.0	11 需要の停滞	22.2	33.3	11.1	66.7
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	11.1	0.0	11.1	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	22.2	0.0	0.0	22.2	13 その他	0.0	11.1	0.0	11.1
7 人件費の増加	0.0	0.0	22.2	22.2	無回答	0.0	11.1	22.2	—

注) 「全体」 = (1位 + 2位 + 3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- ・ 新型コロナウイルスによる各種イベントの中止が大きく影響している。
- ・ ネット商談会で新規契約を取ることができた。コツがつかめれば伸びそうであり、次の手を打ちたい。

《建設業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(令和2年1月～3月期)と比べた 今期(令和3年1月～3月期)の状況				前期(令和2年10月～12月期)と比べた 今期(令和3年1月～3月期)の状況				今期(令和3年1月～3月期)と比べた 来期(令和3年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	25.0	37.5	37.5	△ 12.5	37.5	37.5	25.0	12.5	62.5	25.0	12.5	50.0
2 採算	12.5	62.5	25.0	△ 12.5	0.0	75.0	25.0	△ 25.0	12.5	62.5	25.0	△ 12.5
3 仕入単価	42.9	57.1	0.0	42.9	28.6	71.4	0.0	28.6	37.5	62.5	0.0	37.5
4 従業員数	/	/	/	/	0.0	100.0	0.0	0.0	12.5	87.5	0.0	12.5
5 資金繰り	/	/	/	/	0.0	87.5	12.5	△ 12.5	12.5	75.0	12.5	0.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I (業況判断指数)とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		25.0	37.5	37.5		△ 12.5		50.0	25.0		25.0	25.0		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	12.5	25.0	12.5	50.0	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	0.0	0.0	0.0
2 大企業進出による競争激化	0.0	12.5	0.0	12.5	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	0.0	0.0	0.0	0.0
4 原材料高及び不足	37.5	0.0	0.0	37.5	11 需要の停滞	0.0	12.5	0.0	12.5
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	50.0	0.0	0.0	50.0	13 その他	0.0	0.0	12.5	12.5
7 人件費の増加	0.0	12.5	25.0	37.5	無回答	0.0	37.5	50.0	—

注) 「全体」= (1位+2位+3位を選んだ回答数)/全回答数

3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- ・ 水回り機器の部品供給不足が一部で続いており、お客様に施工をお待ち頂いている。
- ・ スエズ運河でのタンカーの座礁や、新型コロナウイルスによる輸入の制限により木材の流通が減少。今後の価格高等が懸念される。
- ・ 新型コロナウイルスの影響による受注の落ち込みに対し、インターネットを使った営業手法を取り入れるなど、新しい受注の取り組みを進めている。
- ・ 県外工事ではPCR検査の結果を求められるなど、県外出張は容易にできない状況になりつつあり、販路を県内へ転換せざるを得ない状況。

《卸 ・ 小 売 業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(令和2年1月～3月期)と比べた 今期(令和3年1月～3月期)の状況				前期(令和2年10月～12月期)と比べた 今期(令和3年1月～3月期)の状況				今期(令和3年1月～3月期)と比べた 来期(令和3年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	33.3	16.7	50.0	△ 16.7	22.2	22.2	55.6	△ 33.3	22.2	22.2	55.6	△ 33.3
2 採 算	22.2	38.9	38.9	△ 16.7	5.6	55.6	38.9	△ 33.3	16.7	50.0	33.3	△ 16.7
3 仕 入 単 価	33.3	66.7	0.0	33.3	11.1	83.3	5.6	5.6	33.3	66.7	0.0	33.3
4 従 業 員 数					0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
5 資 金 繰 り					5.9	70.6	23.5	△ 17.6	5.9	76.5	17.6	△ 11.8

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I (業況判断指数)とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		22.2	33.3	44.4		-22.2		16.7	61.1		22.2	-5.6		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	47.4	10.5	5.3	63.2	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	5.3	5.3	10.5	21.1
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	5.3	5.3	10.5	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	5.3	0.0	5.3
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	5.3	10.5	15.8	31.6
4 原 材 料 高 及 び 不 足	10.5	10.5	0.0	21.1	11 需 要 の 停 滞	5.3	21.1	15.8	42.1
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	5.3	5.3	10.5	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	5.3	0.0	5.3
6 人 手 不 足	5.3	5.3	5.3	15.8	13 そ の 他	10.5	0.0	0.0	10.5
7 人 件 費 の 増 加	5.3	5.3	10.5	21.1	無 回 答	5.3	10.5	26.3	—

注) 「全体」= (1位+2位+3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- ・ 都会のインターネット販売会社が地方への営業を強化している。当社もインターネットによる販売の強化をはかる。
 - ・ コロナ関連の入札が一段落し、官庁物件は減少の見込み。一般企業への訪問販促も難しい状況にあり、販促計画を見直す必要がある。
 - ・ コロナに関係なく、製品価格の高騰と建設会社の卸を介さない直接の仕入れにより、今後の卸売業界の状況は年々悪化する見込み。
 - ・ キャッシュレスが増え、現金が一時的に不足することがある。
- ・ コロナ対策の費用負担が重い。
 - ・ コロナの影響で贈答用商品の売上が減少。
 - ・ コロナ禍でペットの取引価格は高騰している。
 - ・ 小売業界では閉店する店が増えている。当店もネット販売を検討していく。

《サービス業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(令和2年1月～3月期)と比べた 今期(令和3年1月～3月期)の状況				前期(令和2年10月～12月期)と比べた 今期(令和3年1月～3月期)の状況				今期(令和3年1月～3月期)と比べた 来期(令和3年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	14.3	35.7	50.0	△ 35.7	21.4	21.4	57.1	△ 35.7	35.7	35.7	28.6	7.1
2 採算	0.0	50.0	50.0	△ 50.0	7.1	42.9	50.0	△ 42.9	14.3	57.1	28.6	△ 14.3
3 仕入単価	14.3	71.4	14.3	0.0	7.1	85.7	7.1	0.0	0.0	92.9	7.1	△ 7.1
4 従業員数	/	/	/	/	0.0	92.9	7.1	△ 7.1	7.1	78.6	14.3	△ 7.1
5 資金繰り	/	/	/	/	0.0	76.9	23.1	△ 23.1	0.0	84.6	15.4	△ 15.4

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		21.4	21.4	57.1		-35.7		42.9	14.3		42.9	0.0		7.7

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	57.1	7.1	0.0	64.3	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	7.1	7.1	14.3
2 大企業進出による競争激化	7.1	7.1	7.1	21.4	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	0.0	14.3	7.1	21.4
4 原材料高及び不足	0.0	0.0	7.1	7.1	11 需要の停滞	7.1	14.3	14.3	35.7
5 在庫製品・商品の過剰	7.1	0.0	7.1	14.3	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	7.1	14.3	0.0	21.4	13 その他	7.1	0.0	0.0	7.1
7 人件費の増加	0.0	0.0	0.0	0.0	無回答	7.1	35.7	50.0	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ コロナの状況次第では、業態転換を含めて今後を考えていく必要がある。
 - ・ 介護サービス業界は店舗数が多くなり、競争が激化している。
 - ・ 雇用調整助成金を活用して雇用を維持してきたが、制度を利用ができなくなれば、雇用の維持が難しい。
 - ・ 美容業界は、コロナの影響で来店周期が長くなっている。
- ・ マスク前提の前髪やマスクに映えるカラー剤が流行している。
 - ・ オンラインでの収益確保も図っていかないと売上確保が難しい状況。

《 飲 食 業 》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(令和2年1月～3月期)と比べた 今期(令和3年1月～3月期)の状況				前期(令和2年10月～12月期)と比べた 今期(令和3年1月～3月期)の状況				今期(令和3年1月～3月期)と比べた 来期(令和3年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	0.0	36.4	63.6	△ 63.6	0.0	18.2	81.8	△ 81.8	18.2	45.5	36.4	△ 18.2
2 採 算	0.0	27.3	72.7	△ 72.7	0.0	36.4	63.6	△ 63.6	18.2	45.5	36.4	△ 18.2
3 仕 入 単 価	36.4	63.6	0.0	36.4	36.4	63.6	0.0	36.4	0.0	81.8	18.2	△ 18.2
4 従 業 員 数					0.0	100.0	0.0	0.0	10.0	70.0	20.0	△ 10.0
5 資 金 繰 り					0.0	70.0	30.0	△ 30.0	10.0	50.0	40.0	△ 30.0

注) ↑ 増加・上昇・過剰・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・不足・悪化

注) D I (業況判断指数) とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		0.0	30.0	70.0		-70.0		0.0	70.0		30.0	-30.0		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	75.0	0.0	0.0	75.0	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	16.7	8.3	8.3	33.3
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	8.3	0.0	8.3	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	8.3	0.0	8.3
4 原 材 料 高 及 び 不 足	0.0	16.7	16.7	33.3	11 需 要 の 停 滞	0.0	33.3	16.7	50.0
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	0.0	0.0	8.3	8.3	13 そ の 他	0.0	0.0	8.3	8.3
7 人 件 費 の 増 加	0.0	0.0	0.0	0.0	無 回 答	8.3	25.0	41.7	—

注) 「全体」 = (1位 + 2位 + 3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- ・ コロナの影響で年齢層の高いお客様は減少したが、若いお客様の来店はある。
- ・ スナックの中にも満席の店はあり、コロナを恐れながらも出る人はいる。
- ・ コロナの罹患者がでると、途端にお客様の来店がなくなっていたが、最近ではあまり影響が無くなってきた。